

教科〔美術〕第〔1〕学年	年間指導計画	
<p><b>※ 具体的到達目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に積極的に取り組み、美術に対する関心を高め、楽しく創造していく力を身に付ける。</li> <li>・自然や身近なものを観察し、形や色彩の特徴や美しさなどをとらえ、作品に生かすことができる。</li> <li>・対象を見つめ感じ取ったよさや美しさ、想像したことなどを基に主題を発想しすることができる。</li> <li>・用途や機能などを考え材料などから発想し、形や色・材料などの構成を工夫しながら、自分らしく豊かな表現の構想を練ることができる。</li> <li>・意図に応じた材料や用具の生かし方などの基礎的技能を身につける。</li> <li>・自分の表したい感じを大切にして多様な表現方法を工夫し、伝えたい内容を効果的に表現し、伝達・交流することができる。</li> <li>・美術作品や生徒作品など、作者の思いや意図と表現の工夫、多様な表現のよさや美しさなどを感じ取り味わい大切にすることを育てる。</li> </ul>	月	学習内容
<p><b>※ 評価の観点・方法</b></p> <p>① 美術への関心・意欲・態度：自然や身近なもの、美術作品などのよさや美しさに対する関心をもち、意欲的に美術の基礎的能力を身に付けようとし、それを生かして楽しく表現や鑑賞の創造活動に取り組み、美術を愛好していこうとする。→ 課題への取り組み方・発表・学習態度・作品・準備物・提出物などで評価します。</p> <p>② 発想や構想の能力：感性や想像力を働かせて、自然や身近なものを観察し、よさや美しさなどを感じ取ったり考えたり、用途や機能を考えたりして、豊かに発想し構想する能力を身に付け、形や色の構成などを工夫し、自分らしく豊かな表現の構想をする。→ 作品・定期テストなどで評価します。</p> <p>③ 創造的な技能：スケッチ、形体や色彩の表し方など美術の基礎的技能を身に付け、造形感覚や感性、想像力などを働かせ、表現意図に合う多様な表現方法を創意工夫し、美しく表す。→ 作品・定期テストなどで評価します。</p> <p>④ 鑑賞の能力：自然、美術作品や生活の中の造形などに親しみ、感性や想像力を働かせてよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り味わったり、生活の中の美術の働きなどについて理解や見方を広げたりする。→ 作品・レポート・定期テストなどで評価します。</p>	4	《鑑賞》澄んだ目と心で
<p><b>※ 使用教材</b></p> <p>教科書 美術1「自由な心で」日本文教出版 資料集 開隆堂、レタリング字典 秀学社</p>	5	スケッチの楽しみ
<p><b>※ 学習上の注意・助言</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物の提出期限は必ず守る。</li> <li>・準備や後片付けをきちんとやる。(忘れ物をしない。)</li> <li>・表現材料や用具・作品を大切にし、丁寧に扱う。</li> <li>・自分の表現の構想を練るために、資料を数多く活用する。自分で収集する。</li> <li>・自分の作品を大切にし、ねばり強く、集中して制作に取り組む。</li> <li>・常に見通しをもって計画的に作業し、予定どおりに作品を完成できるように努力する。</li> <li>・作品を上手く・早く仕上げることよりも、いかに強い追求心を持ち、試行錯誤しながら、個性的に考え発想し、技能を工夫して発揮したか。また、何に気付き発見し、失敗などの問題をいかに工夫して解決したか等を大切にに取り組む。</li> </ul>	6	色との出会い
<p><b>※ 家庭学習の仕方</b></p> <p>普段から様々な作品に接する機会をつくる。美術館・様々なメディア(写真・雑誌・本・テレビ・ビデオなど)・映画…、いろんな美術(芸術)に接する機会をもつこと。そして、自分の感性を豊かにしてほしい。</p>	7	(定期テスト)
	9	文字を生かしたデザイン
	10	版のよさを生かして
	11	遊び心のかたち
	12	(定期テスト)
	1	立体に表す楽しみ
	2	
	3	